



発行所 鳥城会事務局 TEL 03 (3668) 2111 編集・印刷所 はんこ広場日本橋店 TEL 03 (56651) 2088

総会報告 参加者百人を超える盛況 出身地別懇親の輪も

平成22年度鳥城会総会は、11月6日(土)に恒例のとおり市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷(旧私学会館)において開催されました。西高からは青木節校長と美田康彦総務部長にお越しいただき、西尾公孝同窓会副会長、白石裕治鳥取県東京本部副部長、八村義郎東京東雲会(鳥取東高同窓会)会長、榎本武明岩美町長を来賓にお迎えして、鳥取一中(60期生)から西高(西高55期生)までの幅広い世代から百十名余の参加をいただき、盛大に行われました。



鳥城会旗の前で恒例の鏡割り

総会では、篠田伸夫会長のご挨拶に続き、林田達郎事務局長から一年間の活動・会計報告、次年度の計画と予算の説明があり承認されました。

総会終了後、会長、来賓を囲んで世代ごとに四つのグループで記念撮影(3面に写真)を行いました。その後、青木校長から祝辞と西高の近況報告をいただきました。集まった同窓会員は、校舎の建替

えをめぐり文化財保護審議会との間に問題が続いていることに関心が強く、今後の展開を懸念する声がありました。その後、鳥取の地酒「稲田姫」の鏡開きを行い、野口謙一氏(一中61期)に乾杯のご発声をお願いして懇親会に移りました。酒樽は県西部から東京に展開する居酒屋チェーン「稲田屋様」からの芳志によるものです。

また、今年還暦を迎える西高第20期生から多数の参加をいただいたので、登壇していただき、節目をお祝いすることができました。西高の校章を描いた鳥城会の同窓会旗は、かつてこの第20期の皆様

宴席には1000本に及ぶ「とうふちくわ」が幹事団と同期の千村氏から届けられ、なつかしい鳥取の味を楽しんでいただけでした。歓談が進む中で、来賓のご祝辞の他に、榎本岩美町長から山陰海岸が「世界ジオパーク」に認定されたことの報告があり、郷土の自然の貴重さを再認識することができました。

皆様からの会費及びご寄付が鳥城会のさまざまな活動を支えています。

同封の郵便振替用紙で平成23年度会費(ただし80歳以上は免除)を納入して下さい。同封の郵便振替用紙で平成23年度会費(ただし80歳以上は免除)を納入して下さい。ただ、ご希望の金額を記入して下さい。(鳥城会事務局)

今年の総会は 11月5日(土)を予定

石破 茂自民党政調会長が来場予定

平成23年度鳥城会総会は、11月5日(土)正午から昨年と同じ東京・市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷で開くことを決め、準備しています。石破茂自由民主党政務調査会長が来場され、懇親される予定です。ご期待下さい。ご期待下さい。ご案内書同封しておりますのでご覧下さい。(西高26期 当番幹事一同)

最後は次期幹事の26期生に同窓会旗を引き継ぎ、元応援団長の神谷昭光氏(西高11期)のメールにより校歌の斉唱で幕を閉じました。不慣れで数も少ない幹事団を助けてくださった諸先輩方には心から御礼申し上げます。(当番幹事西高25期 代表幹事 杉原 純)

寺澤辰磨氏(西高16期) 横浜銀行頭取に就任



寺澤辰磨氏(西高16期)が今年6月、横浜銀行頭取に就任されました。鳥城会にとって嬉しいニュースです。寺澤氏は西高から東大法学部に進み、卒業後大蔵省に入省し国税庁長官、コロンビア大使を経て今回の就任となりました。氏の友人の岡田一郎氏(西高16期)は、「高校時代から、いつも新しい企画を盛り込んだ斬新なアイデアで勝負するのが辰磨流だが、今でもそのスタンスは変わらない様である。横浜銀行でもきつと重責を全うしてくれると思う。」と話されています。今後の氏のご活躍を期待いたします。

会費納入とともに ご寄付もよろしく

皆様からの会費及びご寄付が鳥城会のさまざまな活動を支えています。

平成二十二年度総会出席者 (敬称略)

◎来賓 青木節也鳥取西高校長(西高21期)、西尾孝孝鳥取西高同窓会副会長(西高13期)、美田康彦総務部長(西高27期)、白石祐治鳥取県東京事務所次長、八村義郎東雲会(鳥取東高東京同窓会)副会長、櫻本武利岩美町長

◎会員 (鳥取一中)▽60期・関口孝雄▽61期・野口謙一、岩田 陽▽62期・原 桃介 (鳥取西高)▽1期・橋本邦雄▽5期・林田達郎、三浦三郎▽6期・寛 邦男、竹中

美津江▽7期・山口 元▽9期・茂田宏子、森下恭光、守屋正敏、久米澤喜一郎▽11期・神谷昭光、金子亮太郎▽13期・篠田伸夫▽15期・三角幸子、中川浩明▽17期・清水 博▽19期・松尾秀雄、山本恵美子、小島憲道、大西雅夫▽20期・飯田美夜子、岡崎 健、中村輝実、西尾啓一、有田英昭、石田義則、板垣勝美、櫻本えり子、北脇寿美子、木下良二、柴崎充子、渋谷三郎、砂原真智子、増田好江、森 慶子、守本澄子、森本 隆、山根かおる、吉田敏恵、渡部百子▽21期・木村 剛、安養寺信夫▽22期・増田百合子、難波和子、山崎恒樹▽23期・永美和憲、高木誠一、武田祐孝、寺谷正二郎、竹田 稔、松葉悦子、▽24期・家納優子、久米沢賢高、清水 広一郎、鳥飼俊敬、中村恭子、西垣 栄、山根伸吾▽25期・遠藤晴子、杉原純、山代恵子、土井要子、戸田典良、森田光恵、山根恭子▽26期・伊井孝良、石倉知子、霜村 穰、武田太老、竹安由規男、丹根久司、横澤さくら、木下孝明、岡本貞恵▽27期・井口靖浩、厨子彰英▽28期・武田博史▽31期・神庭伸子▽39期・坂根康人

欠席された方々の近況など

総会を欠席された方々のうち、連絡ハガキの通信欄に近況などが書き込んであるものを選びました。なお、昨年10月時点の便りであることをご承知おき下さい。(敬称略)

(鳥取一中)

山川國雄(49期)一応無病ですが、91歳となりあまり歩かず時々暮会に出席するくらいです

芥 潤一(52期)帯状疱疹後の神経痛のため寝たり起きたりしていますが、近所の散歩は欠かさず励行しています。川口正義(53期)年相応の老化のため病院通いの日もありますが、楽しい日々を過ごしています。

青柳壽久(53期)元氣ですが、次第に足が動かなくなりしました。安木磨二(53期)体調は悪くありませんが、

筋力が衰え歩行困難です。

江本正幸(54期)元氣で頑張っています。中本誠一郎(54期)86歳を過ぎた老人となりましたが、何とか元氣に暮らしております。

谷尾 侃(55期)「偕行社」(旧陸軍の会)の役員で会誌の編集も手掛けています。阪田義明(55期)何とか元氣にやっています。安木 茂(55期)足が悪くてヨロヨロです。猪口高明(55期)四十数年治療を続けてい

ましたが、この歳になり一氣に視力を失い、光を頼りに暮らしております。山根通裕(56期)歯科医師をやめました。高橋昭治(56期)在学中、谷口秋治(国語担当)先生に句創の指導を受け、先生主宰の「踏青」に入会しました。東京出向後、昭和60年に個人俳誌「天瓜粉」を発行し、会員と鳥取砂丘などを吟行しています。藤原謙二(56期)80歳のころにかかったガ

ンも現在小康状態で近場を散歩しています。

倉信隆弘(58期)異常な暑さのため毎日の散歩も捗捗しくありませんでした。

川口義男(58期)高齢者の健康づくり生き甲斐づくりの為のボランティア活動に取り組んでいます。

田中達三(58期)82歳になりましたが元氣でやっています。

稲富道治(60期)幸い元氣です。

三木龍夫(60期)この歳になれば身体のあちこちに不具合が発生します。自力歩行を続けようと極力メンテに努めています。

村野兼雄(61期)一中61期関東地区同窓会は毎月第二木曜日に開催しています。

山本雄二郎(61期)友逝きて傘寿の坂に白露満つ。

山本輝通(61期)昨年47年間の開業医生活に終止符を打ちました。地元紙にコラムを書いています。

岸田汎正(62期)西高1期)幸いにも健康に恵まれ妻と二人旅を楽しんでいます。

平田 弘(62期)西高1期)年齢相応に元氣にやっています。

荒尾裕仁(62期)西高1期)元氣でやっています。

高橋道子(63期)西高2期)最近料理好きになり旬の食材を求め夫と楽しく食事をしています。

石川大修(63期)西高2期)品質トラブルの未然防止をテーマに活動中です。

牧野和春(64期)西高3期)11月末に新著を出版予定です。

三田耕治(64期)西高3期)ボランティアに旅行に元氣に過ごしています。

(鳥取西高)

香月 巖(西高5期)元氣でやっています。

田中 勉(西高5期)元氣で下手なゴルフと孫の保育園送迎及び自治会活動に尽力しています。

美多賀鼻一成(西高5期)実兄姉もいなくなり従兄弟しか鳥取に居なくなると自

然に足も遠くなりします。

岡田 米(西高5期)元氣に過ごしています。

岸田勝實(西高5期)相変わらず元氣です。

山本 智(西高5期)10月に後期高齢者の仲間入りをしましたが、いたって元氣です。

渡部雄義(西高5期)元氣です。読書に旅行と楽しく過ごしています。

中田 悟(西高6期)元氣に書道に励んでいます。

北浦道子(西高6期)元氣に過ごしています。

川口 毅(西高9期)昨年70歳を機に仕事から開放され悠々自適の生活を送っています。

山下和明(西高9期)甲府にある法科大学院で元氣に教えています。

福田典高(西高9期)10月に「福田典高と仲間たちinとっとり展」を県の産業体育館で行い500点以上出展しました。

永田 昇(西高9期)長期療養中です。

三島瑞子(西高9期)夫、三島秀樹がライフワークとして資料集めや現地調査した小繋裁判が映画「こつなぎ」になり協力者となって名前ができました。

岡本昇太郎(西高10期)私塾「受験進学塾」の塾長で塾学研鑽しています。

尾崎捷三(西高11期)妻と猫2匹と暮らしています。

杉本和子(西高11期)健康に留意し乍ら孫の成長を見守りつつアクティブな日々を過ごしています。

中谷俊博(西高12期)胃の手術後2年経ち現在、体力増強に努めています。

田辺沙英子(西高14期)元氣にしています。

田村玲子(西高15期)現在、新潟県の学校に勤務しています。

吉田弘己(西高16期)元氣でやっています。

森中章雄(西高17期)体調不良で外出を控えています。

吉田政雄(西高18期)壮年晩期を迎え少し平坦な場所に引っ越ししました。

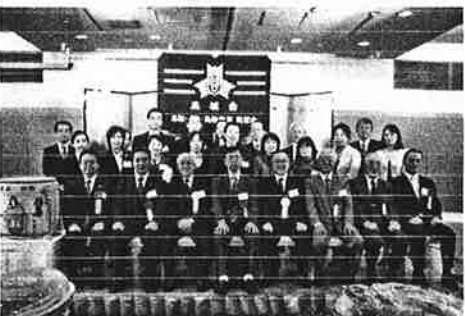
小林秀晴(西高18期)変わりなく元氣です。笹尾 明(西高18期)法務局で相談員とし



旧一中～西高15期のみなさん



西高16期～21期のみなさん



西高22～25期のみなさん



西高26期以降のみなさん

で働いています。
 能勢房江(西高19期)主人が定年退職して
 時間にゆとりが持てるようになり、遠
 かった故郷が身近に感じられるよう
 なりました。
 田川研一(西高20期)現在、転勤で松江勤
 務中でこちらで生活しています。
 若原小都美(西高20期)昨年より夫の赴任
 先の上海に住んでいます。上海市の鳥
 取県人会に参加しています。
 鷲原茂樹(西高20期)毎日、親の介護生活
 を送っています。
 中川直子(西高21期)孫が来年少学生にな
 ります。
 田口和弘(西高22期)赤帽を開業して1年
 が経過し順調に軌道に乗っています。
 広田雅夫(西高22期)2月に湖南学園生徒
 の講道館訪問を受けました。
 建石哲也(西高22期)浦和と鳥取を毎月往
 復しています。
 有田 巧(西高22期)12月に大阪の梅田画
 廊、7月に鳥取大丸で個展の予定です。
 遠藤洋子(西高23期)下の子が来年少社会人
 になり、お茶のお稽古が出来るよう
 になりました。

岸本真哉(西高23期)血液事業は全国的な
 再編成の最中でありその余波が私の様
 な末端に及び忙しい毎日です。

中野 純氏(前会長)ご逝去

追悼

鳥城会会報の 生みの親



前鳥城会会長 中
 野 純氏が昨年9月
 7日すい臓がんのた
 め逝去されました。
 享年七十九歳。

氏は鳥取一中、一
 高、東大と文字通り
 知の巨人であり、社
 会人として朝日新聞
 社入社後は、政治部
 記者として60年安保
 国会の修羅場を経験
 累進され取締役を歴
 任されました。
 また若い頃、竹下
 登氏、金丸信氏らの
 一年生議員のころか
 ら交友があり、後年
 総理大臣となった
 竹下氏と「旧友を暖
 めた」と想いでを語
 っていたらしいま
 した。
 社友になられてか
 らは、猛烈に、精力
 的に郷土・郷友の為
 に尽くされました。
 鳥城会においても
 会長として、会の性
 格が「一中同窓会」
 であったのを、名実
 ともに鳥取西高を主
 体とした組織にする
 橋渡しの大役にな
 われ、伝統ある文武
 両道の同窓会に育て
 て下さいました。
 また、鳥城会会報
 の編集・制作に創刊
 からの長きに亘り携
 われ、母校や同窓生
 との繋がりがもてま

小長井賀興(西高23期)相変わらず立教大
 学で教鞭を執っています。

したのも、氏のお陰
 と痛恨の極みであり
 ます。ご冥福をお祈
 り申し上げます。
 林田達郎
 (西高5期)



平成21年度決算報告(概要)

| | | |
|------------------------------|---------------------|--|
| 収入の部 | 支出の部 | |
| 年会費 577,500 | 総会費 964,432 | |
| 総会費 615,000 | 名簿発行発送費 0 | |
| 受取利息 0 | 通信費 42,600 | |
| 広告費 0 | 慶弔費 0 | |
| 寄附金 387,000 | 事務用品費 0 | |
| 雑収入 0 | 役員会・幹事会等費 100,912 | |
| | レクリエーション補助費 163,010 | |
| | 会報発行費 288,725 | |
| | 事務局費用 2,600 | |
| | 諸手数料等雑費 0 | |
| | 予備費 0 | |
| ----- | ----- | |
| 収入計 1,600,933 | 支出計 1,562,279 | |
| 前期より繰越金 223,928 | | |
| 合計 1,824,861 | | |
| (注:単位=円、会報発行費 には郵送料などを含む) | 次期への繰越金 262,582 | |
| | ----- | |
| | 合計 1,824,861 | |

平成22年度予算(概要)

| | | |
|------------------------------|---------------------|--|
| 収入の部 | 支出の部 | |
| 年会費 650,000 | 総会費 900,000 | |
| 総会費 750,000 | 名簿発行発送費 0 | |
| 受取利息 0 | 通信費 50,000 | |
| 広告費 0 | 慶弔費 50,000 | |
| 寄附金 400,000 | 事務用品費 50,000 | |
| 雑収入 0 | 役員会・幹事会等費 150,000 | |
| | レクリエーション補助費 200,000 | |
| | 会報発行費 300,000 | |
| | 事務局費用 50,000 | |
| | 諸手数料等雑費 50,000 | |
| | 予備費 100,000 | |
| ----- | ----- | |
| 収入計 1,800,000 | 支出計 1,900,000 | |
| 前期より繰越金 262,582 | | |
| 合計 2,023,928 | | |
| (注:単位=円、会報発行費 には郵送料などを含む) | 次期への繰越金 162,582 | |
| | ----- | |
| | 合計 2,062,582 | |

四谷・麹町史跡巡り

東京四谷をぶらり散策

於岩稲荷でしっかり参拝

今回の史跡巡りの舞台は四谷・麹町。平成22年の夏は殊の外暑く、熱中症で多くのお年寄りが亡くなった。そんな時期も過ぎた10月16日(土)午後二時、四谷三丁目に20人の面々が集まった。この地区は新宿区と千代田区に跨る。新宿区の案内はお任せあれと、新宿区役所に勤務する第35期の杉原純氏が立派なパンフレットを持参して駆けつけてくれた。散策したコースは以下のと

おり。
四谷三丁目↓於岩稲荷↓榊原健吉の墓(西応寺)↓須賀神社↓長谷川平蔵の碑(戒行寺)↓服部半蔵の墓(西念寺)↓高松喜六・塙保己一の墓(愛染院)↓荒木町散策・策(むち)の池↓番町文人通り↓グランドアーク半蔵門となります。

四谷に来てお岩さんにご挨拶しないと御難があるかもしれない。全員真剣な顔で二礼二拍一礼。最後の剣客といわれた榊原健吉は天覧兜割で有名。目立たない小さなお墓だった。須賀神社は四谷の総鎮守。やはりお参りしなければ。長谷川平蔵は火付盗賊改方長官、石川島に人足寄場を設けた。これはお墓ではなく供養碑。半蔵門は服部半蔵の名に因む。伊賀同心の支配役。お墓は立派な宝篋印塔。高橋喜六は内藤新



津の守弁財天境内



グランドアーク半蔵門

(鳥取からの寄稿) 鳥取市の将来ビジョン

鳥取市長 竹内 功 (西高21期)



平成23年3月11日に発生した東日本大震災によって犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災者の方々に心よりお見舞い申し上げます。災害に強い町に

かつて我々の先人は、鳥取大震災からその底力で立ち上がり、今日の繁栄を築きました。その意識が風化しつつある中で、これまでの想定をはるかに超えた未曾有の東日本大震災

は、数多くの教訓を残しました。甚大な被害をもたらした津波被害への対応、原発事故の想定、避難訓練や避難所施設の充実、災害時の緊急支援助物資の集積・供給の拠点及び輸送ルートの整備など、市民の皆さんが防災意識が高まっている今こそ、英知を結集してこの教訓を活かしたより実践的な防災体制を構築しなければなりません。

また、これまで進めてきた協働のまちづくりをなお一層推進し、地域コミュニティの絆を深め、きめ細かい自助・共助の支援体制を再構築した新たな地域防災

計画を策定すべく計画の見直し作業に着手しています。

防災拠点としての庁舎が被災した多くの地域では、指揮命令系統を失い、災害発生時の初動対応のみならずその後の避難者の生活支援活動にも多くの支障をきたしました。

現在、本市が進めている新庁舎建設は、耐震性・機能性に課題を抱える現庁舎を建て替えることにより、東日本大震災を教訓に、災害に強く、市民の安全安心を守る災害対策拠点として真に機能する庁舎とすることとあわせ、市民の皆さんにより質の高いサービスを提供できる高機能な庁舎とすることをめざしています。災害時でも通常の行政事務の継続は必要であり、重要なことは庁舎というのには単に壊れないというだけでなく、災害に遭っても機能を全うできるものにしなくてはなりません。また、新庁舎建設により中心市街地を活かすとともに、地域経済の活性化や雇用拡大に努めてまいります。

新庁舎の建設候補地は、本年6月24日に旧市立病院跡地に決定しましたので、今年度は新庁舎の規模や概算建設費などを基本計画として取りまとめます。

本市がさらに飛躍するため、早期に庁舎の建設を進めることが不可欠であり、いまそれに取り組み最良の選択であることと確信し、本市の将来に禍根を残さないよう市民の皆さんの合意を得て進めていきたいと考えます。

宿を開設した人。いうなら初代新宿区長。塙保己一は盲目の身で「群書類従」を編纂した偉人。荒木町といえは路地が入り組む飲み屋街で夙に有名。降りきった窪地にある池は乗馬用

の策(むち)を洗ったことから「策の池」と名づけられたとか。この後、新宿区に別れを告げ、千代田区麹町の番町文人通りを散策。藤田嗣治、島崎藤村、有島三兄弟、泉鏡花と謝野寛

・晶子夫妻、滝廉太郎等々、文人オンパレード。知識を頭に入れ過ぎ、少々グツグツ。懇親会に気が逸る。グランドアーク半蔵門は警察共済の施設とは思えないハイカラなホテル。このお値段でこんなにも豪華な食事がいただけるとは。これも共済施設のお蔭。大いに飲み、食べ、喋っているうちに開きとなった。(篠田伸夫 記)

【お知らせ】次回の史跡巡り(場所未定)にご参加を希望される方は、事務局までご連絡ください。決定次第、ご案内いたします。(鳥城会事務局)